

(9) 圧縮記帳

国庫補助金などを得たことにより有形固定資産を購入した場合、国庫補助金相当額を減額(=圧縮)して帳簿価額とする方法。

※圧縮記帳をしないと得た補助金が収益となるため課税額が大きくなってしまい、補助金の効果が得られにくくなってしまう。

・当期首に、備品の取得にあたって国庫補助金受贈益 300,000 を得て、当座預金とした。

・上記において、当該補助金と自己資金により備品 1,000,000 を購入し現金を支払った。また、圧縮記帳をおこなった。

・決算にあたり、上記備品について定額法(残存価額ゼロ、耐用年数 5 年)により減価償却を行う。間接法により記帳する。

(153 回 1 問)①最新式のレジスター25 台 (@¥144,000) の導入にあたり、去る 5 月 7 日に国から¥ 1, 800,000 の補助金を得て、補助金の受領については適切に会計処理済みである。本日(6 月 1 日)、上記のレジスターを予定どおり購入し、小切手を振り出して支払った。そのうえで、補助金に関する圧縮記帳を直接控除方式にて行った。なお、備品勘定は圧縮記帳した事実を示すように記入すること。

②本日決算日(12 月 31 日)につき、上記の備品について減価償却(200% 定率法)月割計算にて行う。耐用年数は 5 年、記帳方法は直接法によること。

【解答】

(9) 圧縮記帳

・当期首に、備品の取得にあたって国庫補助金受贈益 300,000 を得て、当座預金とした。

当座預金 300,000 / 国庫補助金受贈益 300,000

・上記において、当該補助金と自己資金により備品 1,000,000 を購入し現金を支払った。また、圧縮記帳をおこなった。

備品 1,000,000 / 現金 1,000,000

固定資産圧縮損 300,000 備品 300,000

・決算にあたり、上記備品について定額法(残存価額ゼロ、耐用年数 5 年)により減価償却を行う。間接法により記帳する。

減価償却費 140,000 / 減価償却累計額 140,000

(153 回 1 問)①最新式のレジスター 25 台 (@¥144,000) の導入にあたり、去る 5 月 7 日に国から ¥1,800,000 の補助金を得て、補助金の受領については適切に会計処理済みである。本日(6 月 1 日)、上記のレジスターを予定どおり購入し、小切手を振り出して支払った。そのうえで、補助金に関する圧縮記帳を直接控除方式にて行った。なお、備品勘定は圧縮記帳した事実を示すように記入すること。

②本日決算日(12 月 31 日)につき、上記の備品について減価償却(200% 定率法)月割計算にて行う。耐用年数は 5 年、記帳方法は直接法によること。

① 備品 3,600,000 / 当座預金 3,600,000

固定資産圧縮損 1,800,000 備品 1,800,000

② 減価償却費 420,000 / 備品 420,000